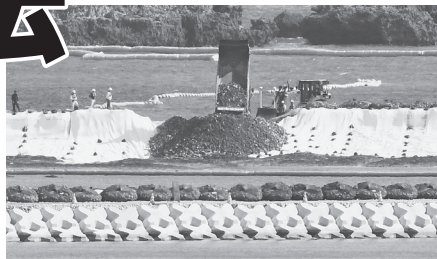


違法に違法 辺野古・米軍新基地

辺野古への土砂投入は沖縄の民意を踏みにじるだけでなく、法治国家では到底あり得ない、違法に違法を重ねた蛮行です。



土砂が投入された護岸付近

沖縄・全国一つに建設阻止

●埋め立ての法的根拠ない

沖縄県は8月、辺野古沿岸部の埋め立て承認を撤回。工事は法的根拠を失って止まっていた。ところが、防衛省沖縄防衛局は行政不服審査法を悪用して承認撤回を執行停止にし、工事を再開しました。同法は国民の救済が目的で、国の機関に適用されないことを明記しています。

土砂の積み出し自体も①法や県の条例にもとづく必要な手続きがされ

ていない②条例で規制されている赤土が混入している—など数々の違法性があります。

●引き返すことは可能

辺野古埋め立て全体に必要な土砂の総量は約2100万立方メートル。今回投入された海域は約132万立方メートルで全体の6%程度。安倍政権は完成への展望など持っていません。引き返すことは可能。沖縄・全国が一つになって新基地を断念させましょう。

参議院 比例代表は **日本共産党** と 政党名で 制度解説
個人名でも投票できます

「全国はひとつ」参院比例代表で7議席をめざします



大暴挙 県民の怒りさらけに

沖縄・辺野古

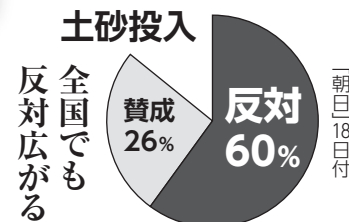
土砂投入を強行

安倍政権は14日、米軍新基地建設で名護市辺野古の沿岸部への土砂投入を強行しました。



名護市辺野古

玉城知事「決してあきらめない」



9月の沖縄県知事選で新基地反対の玉城デニー氏が8万票差で圧勝。土砂投入は圧倒的な民意を切り捨てる暴挙です。しかも基地完成の見通しなどありません。埋め立て区域にはマヨネーズ並みの超軟弱地盤があり、改良工事が必要。知事の許可が必要ですが、玉城知事は許可しないでしょう。

強行の背景には来年2月の新基地建設を問う県民投票を前に、土砂を投入すれば県民はあ



土砂投入強行に抗議の声を上げる人々たち
14日、辺野古（しんぶん赤旗提供）

きらめるといふ思惑があります。しかし玉城知事は「工事を強行するほど県民の怒りは燃え上がる」「決してあきらめない」と表明。全国でも土砂投入反対の世論が広がっています。

日本共産党

近畿民報

2018年12月 No.3(第348号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。